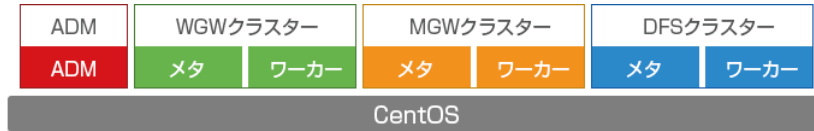


GUARDIANWALL Mailセキュリティ オンプレミス対応製品

ハードウェア構成例(1台構成/4台構成)

| 1台構成(全クラスターを1台のサーバーに搭載した構成)



規模感	最大メール流量 20万通/日(平均メールサイズ100KB)まで
冗長性	サービス冗長化 : なし データ複製 : なし
スペック	CPU : 2コア以上 メモリ : 12GB以上
その他	必要HDD容量はメール流量およびメール保存期間により変動します。

| 4台構成(メタとワーカーのクラスターを別サーバーへ集約し、それぞれ冗長化をした構成)

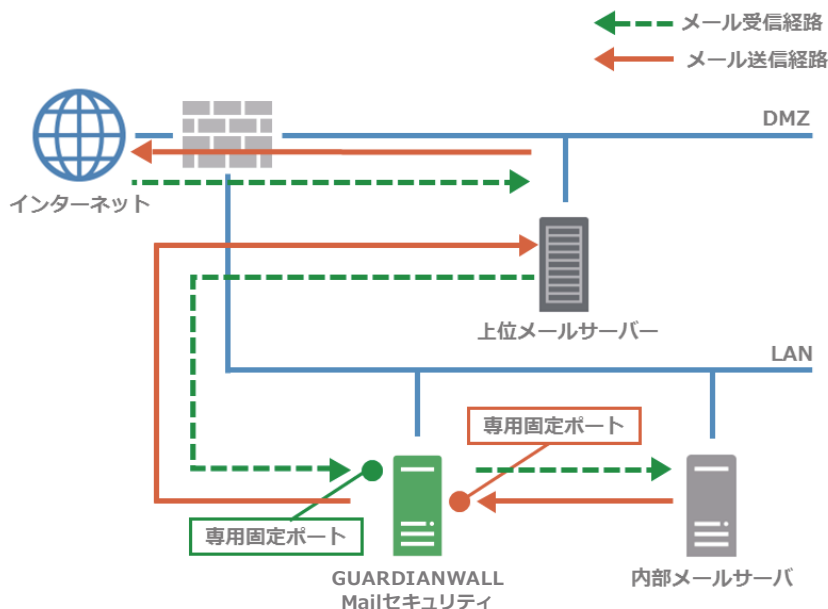


規模感	最大メール流量 40万通/日(平均メールサイズ100KB) まで ^{※1}
冗長性	サービス冗長化 : あり ^{※2} データ複製 : あり
スペック	CPU : 2コア以上 メモリ : 8GB以上(1台あたり)
その他	必要HDD容量はメール流量およびメール保存期間により変動します。

※1 ワーカー2台を分散稼働させた場合の最大処理能力です。
 ※2 ワーカー2台を分散稼働させた場合、メール配送能力は冗長性が行えません。

GUARDIANWALL Mailセキュリティ オンプレミス対応製品 導入環境例、制限事項

| GUARDIANWALL Mailセキュリティを導入する環境例



| GUARDIANWALL Mailセキュリティ制限事項

● GUARDIANWALL Mailセキュリティ利用時のメール配送経路

GUARDIANWALL Mailセキュリティを利用する場合、メールの配送経路として「上位メールサーバー」と「内部メールサーバー」が必要になります。上記の環境例のように、「上位メールサーバー」と「内部メールサーバー」をご用意ください。

● メール送受信に利用するポート番号

GUARDIANWALL Mailセキュリティはメールの送信ポート、受信ポートに25番ポートを使用していません。専用固定ポートになり、送受信で異なります。

● メールのリレー許可

GUARDIANWALL Mailセキュリティでのメールのリレー許可には、メール受信のために設定したドメインを利用します。複数のドメインからメールのリレーを許可するためには、GUARDIANWALL Mailセキュリティにドメインを追加する必要があります。

※その他、導入に関する制限事項については、必ず販売店もしくは、メーカーへご確認ください。

GUARDIANWALL WebFilter

ハードウェア構成例、スペックサイジング例

● 1台構成

管理サーバーと検査サーバーを
同じサーバーで構成



● 検査サーバー複数台構成

負荷分散、冗長化



| GUARDIANWALL WebFilter Linux版 スペックサイジング例

ユーザー数	CPU	メモリー	ハードディスク (空き容量)
500名以下	クアッドコア2.0GHz×1以上	5GB以上	400GB以上
1,000名以下			700GB以上
1,500名以下			1.0TB以上

※1,500名を超える規模のサイジングにつきましてはお問い合わせください。

- ログの保存期間は180日を想定しています。
- 1名あたりのWebアクセスは1日当たり1,000件を想定しています。
- SSL通信の比率は2割を想定しています。
- アクセスログの検索に関する注意点として、Webアクセスが集中している、もしくは、検索対象のアクセスログのデータ量が多い状況では、タイムアウトが発生し検索結果が閲覧できない場合があります。その場合、検索範囲の絞り込みや、ハードウェアスペックの強化を行ってください。



総合情報漏えい対策ソリューション・ガーディアンウォール

GUARDIANWALL

製品情報 <https://cweb.canon.jp/it-sec/solution/guardianwall/>

お問い合わせ <https://cweb.canon.jp/it-sec/solution/guardianwall/contact/>

- ・ Windows, Office 365は、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です
- ・ 記載されている会社名及び商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です
- ・ 本資料に記載された内容は、予告なく変更される場合がございます